

第107回医師国家試験対策委員会 活動報告

第107回医師国家試験対策委員会委員長 5年次 砂川 惇 司

盛夏の候、同窓会会員の先輩方、在校生の皆様におかれましては益々のご清栄の事とお喜び申し上げます。

私は第107回医師国家試験対策委員会の委員長を務めます、医学科5年次の砂川惇司と申します。前年度委員長の6年次黒崎さんより引き継ぎ4月から本格的に活動を始めております。

今年度の医師国家試験対策委員会（以下国対委員会）は総勢46名の5年次学生で活動を行っています。46名という大所帯で国試期間のサポートに加え、通年の様々な活動も行っております。今回は年間通して行われている活動をご報告いたします。国対委員会の通年活動を大きく分けると、(1)模試・講座案内 (2)講演会主催 (3)九州ブロック会参加があります。

(1)模試・講座案内は、予備校が開催している模試やビデオ講座の案内を行い、その申込や実施監督、テキスト配布などを行っています。本年度も同窓会皆さまのご厚意により、予備校（MEC）による春プレ模試の受験料を全額援助して頂き、全員会場（臨床講義棟）受験という形で4/14（土）、15（日）に実施することができました。全員が一堂に会して受験することで、臨場感を感じたという声があります。また、例年よりも早い時期に全員受験が行われました。この一斉受験により、自身の国試対策の進捗度を数字として把握することが出来たようです。多くの受験生が早い時期に全国における自身の位置付けを認識しました。禁忌肢を除いて相対評価で合否が決まる国試において、全国の受験生と比較分析することは非常に有意義なことは言うまでもありません。このように全員受験が叶いましたことは多大な支援をして頂きました同窓会会員の皆様のご理解によるものであります。誠にあ

りがとうございました。

(2)講演会は予備校講師による国試対策講演会と6年生による講演会があります。前者では大手予備校（人気!!）講師を招いて、近年の国試の傾向（流行り問題）などをご教授して頂いております。今年度は6月、7月、10月に開催される予定です。後者につきましては、例えばマッチング結果発表直後にマッチングの状況に関する講演会を開催し、また国試受験後に国試対策についての講演会を開催しております。いずれも複数の演者が講演し、様々なマッチング受験談や国試対策方法などを後輩に伝えて頂いております。今年度以降も継続していく方針です。

(3)九州ブロック会は九州・沖縄地区にある10大学医学部の国対委員会から構成されており、各大学の情報を共有する場であるとともに、交流を深める場でもあります。毎年6月と11月に開催され、各大学の国試やCBTの結果分析、国試対策の情報共有などを行っています。各大学によって取り組みは様々であり、模試/ビデオ講座案内といったルーチンワークにとどまらず、学生自ら勉強会を開き成績下位層へレクチャーを行っている大学もあるようです。私たちも独自の取り組みを活発化できるよう、来る6月30日（土）のブロック会@琉球大学で多くの情報を仕入れ、受験生に還元していきたいと考えています。

今後とも同窓会会員の皆様のご理解を得ながら、受験生を様々な形でサポートしていく次第です。今後とも皆様からのご指導、激励を宜しくお願いいたします。

